

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや地域の実態に合った教育課程を編成するとともに、自他の「生命(いのち)を尊重する教育活動を推進する。</li> <li>ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」と「協同的な学び」の実現に向けた授業づくりを行う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の教育目標「輝き共に伸びる」を合言葉に「雨の日の全校遊び」や「全校レク」など創意工夫した活動に取り組むことができた。</li> <li>どの授業においても「学び合い」を位置付け、仲間と関わりながら学習する姿が定着した。</li> <li>授業アンケートで「英語が好き」、「まあまあ好き」と言える子どもが84%であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童がのびのびと元気に生活し、外で遊ぶ児童が多いことがよい。授業では、教員と児童との関係がよく、コミュニケーションが図られている。また、いろいろな活動を児童主体で行っているところがよい。</li> <li>学習以外にタブレットを使用しないよう、継続して指導してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「好き」を育み「得意」を伸ばし、自己肯定感を高められるような教育課程を工夫し、児童が「毎日学校に行きたい」と思えるような学校づくりをしていく。</li> <li>児童が主体となって取り組んでいけるような創造的な活動を工夫していく。</li> </ul>
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会や、地域の声を積極的に生かし、学校行事や学習などの様々な場面で、保護者や地域の方の参加を呼びかけ、地域と一体となって特色ある学校づくりを行う。</li> <li>「学び合い」を軸とし、9年間を見通した小中一貫教育を推進していく。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事や学年行事など、様々な場面で保護者の参加やサポートを呼びかけ、学校を知ってもらう機会を意図的に設けることができた。また、地域の組織と連携して、「ミニコンサート」や「ひびきあい集会」を行い、地域に根差した教育活動を行うことができた。</li> <li>小中校区の学校の実践交流や授業参観を通して、小中一貫で進めている「学び合い」を組織的に推進することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の行事において、児童・保護者の参加が減ってきている現状を危惧している。もっとボランティアを募集するとよい。</li> <li>土曜授業や「ミニコンサート」、「ひびきあい集会」など、地域と学とが一体化した取組を行うことができた。</li> <li>PTAの交流会など、学校が大変協力的であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会を核として、新たな地域の人的・物的教育資源の開拓を進めていくとともに、積極的に活用することで、地域に根ざした児童の育成を図る。</li> <li>学校行事や学校活動など、地域や保護者の積極的な参加を呼びかけ、地域全体で児童を見守る体制を構築していく。</li> </ul>
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員が連携し、生き生きとした姿で子どもたちと向き合うことができるよう、教職員のウェルビーイングを重視した業務管理を行う。</li> <li>一人一人が研究内容を決めて実践する研究体制を構築することにより、働きがいのある学校づくりを進める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革の一環として日直や日課の見直し、「早く帰る日」の設定などを行い働きやすい環境づくりを行ったところ、時間外勤務月45時間を超える職員はほとんどいなかった。</li> <li>研究内容の「ふりかえりシート」の工夫について自身の実践の紹介や提案をしたことで、職員同士が学び合う、あたたかい雰囲気が構築された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「職員が働きやすい学校」が、大きな軸になる。生き生きとした先生方の姿を見られる環境が素晴らしい。ただ、学校行事が多いので、先生方の負担が大きいのではないかと。先生方の「働き方改革」を推進していかなければならない。</li> <li>教員の不祥事ニュースもある。規範意識を高めてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事の精選、業務の均一化を図り、働きやすい学校づくりを推進していく。</li> <li>職員同士が学び合い、高め合える研究・研修を計画していく。</li> <li>職員同士のコミュニケーションを活性化させ、よさや成長が日常的に話題に出るようなあたたかい職員集団を目指す。</li> </ul>
子どもたちが安心して学べる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ未然防止の取り組みと、事案発生時の迅速かつ組織的な対応の充実をはかる。</li> <li>「安心できる居場所の確保」「信頼できる大人の存在」「自己決定する場の設定」を行い、誰もが安心して学べる居場所づくりを目指す。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月3日の「いじめを見逃さない日」を通して、自分自身や仲間の言動を振り返る機会とすることができた。</li> <li>年4回「こころのアンケート」を実施し、丁寧な教育相談を行うことで、様々な事案を迅速にキャッチし、組織で対応することができた。また、担任以外に相談できる職員を見つけることで安心してSOSを出せる環境づくりを行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>欠席者が少なく授業中に離席する児童もいない。児童が安心して学校に通い、学習していることがわかる。</li> <li>20、30代で事件を起こす加害者は、いじめの被害者だった過去がある。「いじめ」が起こる要因を考えていきたい。</li> <li>安心できる居場所が家庭と学校、共にあってほしい。また、子ども自身のコミュニケーション力を付けていくべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ未然防止の取組として、「自分を見つめる」「相手を理解する」「自分も周りも大事にできる」児童を育成を目指し、教育活動を工夫する。</li> <li>いじめやトラブルに対しては、小さな芽も見逃さない高いアンテナをもち、事案が発生した際には、迅速かつ丁寧な対応を心がけ、組織で対応する。</li> </ul>
災害、事故に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な緊急事態・災害時を想定した「命を守る訓練」を計画・実施し、「自分の命は自分で守る」児童を育てる指導の工夫を行う。</li> <li>地域の防災教育への参加と、児童が思考力・判断力を働かせながら自分や周りの命や健康を守ることができるようにする。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>シェイクアウト訓練、放送機器が使えない場合の訓練、垂直避難訓練など、様々な想定で訓練を実施したり、防災週間などを設けたりして防災について考える機会を増やした。また、地域の「城西校区防災訓練」に児童が自主的に参加したことで、思考力・判断力を働かせながら、自分や周りの命や健康を守ろうとする知識や態度が育ってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度から「城西校区防災訓練」の児童の参加が自由参加になった。保護者の危機意識の高さが子どもたちに影響する。学校としても、引き続き、防災教育を行ってほしい。</li> <li>「城西見守り活動」で、引き続き児童の安全を見守ってほしい。児童の挨拶で元気をもらっているが、歩道から道路に出ている児童が時々いる。学校や家庭で指導してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な災害を想定した訓練を行うことで、防災の意識をさらに高めていく。</li> <li>学校内での事故や怪我防止のために、運動場や校舎内での安全な過ごし方や利用の仕方を見直す。また、危険予知の学習などを通して、児童自らが思考・判断して安心・安全な生活ができるよう指導していく。</li> </ul>
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務や納入金の適切な管理を複数で確認し、計画的かつ有効に運用する。</li> <li>施設設備などの安全点検を確実に行う。また、危険箇所があった場合は、修繕や要望提出を迅速に行い、教育環境を整備する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間の教育活動や財務状況を把握し、計画的に予算執行することができた。また、学校納入金は、複数の目で確認し、適切な管理に努めた。</li> <li>毎月の安全点検を確実にし、不備が見つかったときには、迅速に対応したり、要望書を出したりして、安心・安全に生活できるよう努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行代金が一括支払いだが、金額が大きいと保護者の負担にならないか。</li> <li>古い校舎だが、児童はきれいな環境で生活している。生活の基本となる教室がきれいに整っていることはとてもよい。</li> <li>低学年の女子トイレ洋式化はありがたかった。他のトイレについても子どもの安心のために改善してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に予算執行ができるように努める。</li> <li>校舎や備品等の老朽化が進んでいるため、毎月の安全点検を念入りに行う。また、不備が見つかったときには、市への報告や修繕の要望書を迅速に提出し、教育環境を整備する。</li> </ul>